

# 第1章 総 説

「急傾斜地崩壊対策（雪崩対策含む）」が目指すものは、急傾斜地の崩壊による被害から尊い人命や貴重な財産を守ることにある。急傾斜地の崩壊は、人的被害の発生割合が高いことに加え、集中豪雨の増加傾向や高齢社会の到来を考慮すると、「急傾斜地崩壊対策」の重要性は今後ますます高まってくることが予想される。

急傾斜地崩壊防止工事は、斜面の安定度を現状より高めるために斜面に対して直接的に実施する工事と、斜面崩壊が発生した場合においても保全対象への崩壊土砂の到達を防止・軽減することにより保全対象の被害を軽減させるために実施する工事に分類される。

上記を踏まえ、急傾斜地崩壊対策施設の配置計画は、急傾斜地の崩壊に起因する災害からの安全確保を目的として、想定される崩壊の規模、現象等に応じて、急傾斜地の崩壊による災害の防止が図られるように、適切な配置となるように策定し、必要に応じ工法を組み合わせることで適切に計画するものとする。

また、急傾斜地の崩壊による災害の防止・軽減を図るために、急傾斜地崩壊防止施設の整備によるハード対策と警戒避難体制の整備を図るソフト対策とが一体となった総合的な土砂災害対策の充実・強化が必要であり、それらを考慮した急傾斜地崩壊防止施設計画を策定するものとする。

なお、計画の策定に当たっては、周辺環境に配慮するとともに、関係する諸法令、地域計画等との整合性に留意すること。

## 〈参考文献〉

国土交通省河川砂防技術基準 同解説（社団法人日本河川協会）

建設省河川砂防技術基準（案）同解説（社団法人日本河川協会）

新・斜面崩壊防止工事の設計と実例（社団法人全国治水砂防協会）

現場技術者のための砂防・地すべり・がけ崩れ・雪崩防止工事ポケットブック

崩壊土砂による衝撃力と崩壊土砂量を考慮した待受け擁壁の設計計算事例（全国地すべりがけ崩れ対策協議会）

がけ崩れ対策の手引き（全国地すべりがけ崩れ対策協議会）

集落雪崩工事技術指針（案）（社団法人雪センター）

雪崩とその対策（雪崩対策研究会）

雪崩対策（砂防学会）

雪崩対策事業の手引き（全国地すべりがけ崩れ対策協議会）

新編防雪工学ハンドブック（日本建設機械化協会）

道路土工－のり面工・斜面安定工指針（社団法人日本道路協会）

道路土工－擁壁工指針（社団法人日本道路協会）

落石対策便覧（社団法人日本道路協会）

のり枠工の設計・施工指針（社団法人全国特定のり面保護協会）

※それぞれ最新版を参考のこと。